

へき地等における医師の配置基準の特例許可について

病 院 名 独立行政法人国立病院機構釜石病院

一般病床 180床（慢性期病床）

1. 国立病院機構釜石病院の診療特色

脳神経系疾患の重症慢性期を対象とした障害者を中心に、特殊疾患療養病棟と重症心身障がい児（者）に対する医療を提供している

2. 釜石病院が地域において果たしている役割

- (1) 釜石医療圏の高齢化が進行し、重症の脳卒中後遺症、神経難病、重症の頭部外傷後遺症患者などの他の病院や施設で扱えない重症度の高い入院治療を実施しており、地域の急性期病院や診療所の後方支援病院としての役割を担い、地域医療機能強化に積極的に貢献している。
- (2) 小児てんかん、心身症、発達障害などの慢性疾患の専門治療を実施しており、岩手県立釜石祥雲支援学校との相互協力で医療と教育の連携をおこなっている。
- (3) 重症心身障がい児（者）病棟は、岩手県三陸沿岸地域の唯一の施設として障害者支援に貢献し、岩手県立釜石祥雲支援学校との連携による療育活動にも多くの実績を上げている。

3. 医師確保状況

- (1) 現在、医師確保のために、岩手医科大学はもちろんのこと、岩手県内の病院及び釜石市内の診療所の医師から多くの診療支援を受け、また国立病院機構内の病院（仙台医療センター等）からも医師派遣を受けている。
- (2) 国立病院機構本部及び北海道東北グループへの医師の配置依頼や、民間業者の人材紹介サイトへ登録などを行っているが、常勤医師確保には至っていない。
- (3) 当院は、岩手医科大学、県立釜石病院、県立大船渡病院の臨床研修協力病院となっている。
- (4) 院長が直接医師にお願いする等し、医師派遣等診療支援を積極的に行っている。

4. 主な診療支援実績（医療機関、クリニック等）

- ① 岩手医科大学（附属病院） ② みちのく療育園
- ③ 釜石ファミリークリニック ④ 釜石しょうけいクリニック
- ⑤ 松浦脳神経外科 ⑥ 国立病院機構（仙台医療センター、長崎医療センター、九州医療センター、広島西医療センター、愛媛医療センター）
- ⑦ 気仙沼市立病院 ほか

なお、現在の常勤医師は院長を含めて4名となっているが、高齢化や体調が思わしくなく入院治療や自宅療養が予測されている医師が複数おり、1名が勤務できないだけで7割を下回ることが確実となる。

引き続き、医師の配置基準特例措置をお願いしたい。

5. 医師充足率の推移（令和5年4月～令和7年10月）

